



1 はじめに

現在、町では新庁舎建設基本設計業務を委託している福島県建築設計協同組合と、新庁舎の設計コンセプトやプランを作成する設計担当者を決めるために、「プロポーザル」を開始しました。これからは専門的な知識を持つ組合と連携し、本格的な設計のフェーズへと踏み出します。

2 「プロポーザル」とは？



新庁舎を災害時の拠点、誰もが長く使い続ける庁舎とするためには、高度な技術や専門的なアイデアが欠かせません。

そこで、価格の低さで設計担当者を選ぶ「入札」という方式ではなく、災害に強い構造や将来の維持管理費を抑える工夫、誰もが使いやすいデザインなどといった提案内容・技術力・設計実績などを総合的に審査し、最も優れた設計担当者を選ぶ「プロポーザル」という方式を採用しました。

また、プロポーザル方式の実施にあたり、外部の学識経験者や建築の専門家などを交えた第三者組織として審査委員会を設置しています。専門的な視点から客観的に評価し、公平・公正に選考を行う重要な役割を担っています。

3 第1回審査委員会の開催

7月23日に第1回審査委員会が開催され、選考を行うためのルールとなる「実施要領」や、町が目指す新庁舎整備の基本的な考えを示した「新庁舎建設基本計画」の確認と共有、今後の審査日程について話し合わせ、プロポーザルが本格的にスタートしました。

また、設計担当者の公募にあたっては、積雪など地域特性への理解がありながらも、豊富な実績と高度な専門技術を有する優れた事業者を広く募るためにも、関東、東北および新潟県内に一級建築士事務所を有する事業者を対象とすることにしました。

◆会津坂下町役場新庁舎建設基本設計業務委託 プロポーザル審査委員会（順不同・敬称略）

【審査委員長】 浦部 智義 （日本大学工学部 教授）

【審査委員】 鈴木 弘二 （建築家・元日本建築家協会東北支部長）

【審査委員】 板橋 正良 （副町長・会津坂下町庁内検討委員会 委員長）

【審査委員】 五十嵐 隆裕 （建設課長・会津坂下町庁内検討委員会 副委員長）

【審査委員】 荒井 盛行 （会津坂下町新庁舎建設検討委員会 委員長）

【審査委員】 鈴木 宏幸 （福島県建築設計協同組合 代表理事）



4 現地説明会の開催

7月30日には、プロポーザルへの参加を検討している事業者を対象に、現地説明会を実施し、各地から**21者が参加しました**。

当日は、まず健康管理センターにてプロポーザルの実施要領と、新庁舎建設基本計画の説明を行いました。現庁舎の現状や新庁舎の目指すべき姿、そして新庁舎に必要な機能など設計にあたって配慮すべきポイントについて詳細に説明しました。

その後は建設予定地である旧坂下厚生総合病院跡地へ移動し、参加した事業者による現場確認が行われました。敷地の高低差や周辺道路の位置関係、隣接する建物との距離など、設計における重要事項をプロの視点から入念に確認しておりました。

これにより、各事業者が当町の特性や周辺環境を的確に捉え、より具体的に実現性の高い、優れた企画提案が期待されます。



5 今後のプロポーザルスケジュール

現地説明会の開催後、本プロポーザルへの参加表明を受け付けた結果、**24者の参加表明がありました**。

現在は事業者からの「技術提案書」の提出を受け付けており、その後、審査委員会による厳正な書類審査およびヒアリングでの審査を経て、10月末に設計担当者が決定する見込みです。

◆今後のスケジュール

- | | |
|-----------|---|
| 10月5日（月） | 技術提案書の提出締切 |
| 10月16日（金） | 第一次審査（書類審査）
【時間】午後1時10分～
【場所】会津坂下町中央公民館 大研修室 |
| 10月29日（木） | 第二次審査（ヒアリング審査）
【時間】午後1時10分～
【場所】会津坂下町中央公民館 大研修室 |
| 10月末 | 設計担当者の決定 |



※ 第一次審査と第二次審査は傍聴が可能です。傍聴をご希望の方は、直接会場までお越しください。